

2019(令和元)年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

担当部署	産業環境課		
------	-------	--	--

基本目標	4 みんなで“活かす”～住み続けられる・魅力あるまちづくり～
施策	20 農業

施策の方向・内容		具体的な事業内容
1	農地の保全・農業生産基盤の整備	○水質保全対策事業(昭和用排水路水障管修繕工事) 引き続き、扶桑町・大口町・江南市を受益とする昭和用排水路の水障管の老朽化対策として、県営事業にて改修工事を施工する。(適正化事業) 工事費負担金 H31 1,722千円(畑かん修繕工事) ○農地利用最適化事業として、遊休農地等の有効利用を図ることを目的に各農業者との情報共有を行う。
2	農業経営の安定化	○遊休農地や耕作放棄地の解消に向け、認定農業者並びに認定新規就農者への農地の利用集積を進め、農業生産の効率化を図る。 ○関係機関(愛知県・JA)を活用し、新たに農業経営を営もうとする青年等の情報収集をするとともに、新規就農者の確保・育成に努める。 ○農業制度資金の活用、補助事業等の支援を行うことにより、農業経営の安定化を図る。
3	農業体験の充実	○住民の健康増進と相互の親睦を図り、土に親しみながら野菜や花き等の栽培を楽しむことができるよう、農家の遊休地を利用し家庭菜園を提供する。 ○小学生を対象に特産品である守口大根の体験学習を実施することにより、町に対する愛着と誇りを育むとともに地産地消を意識付け、食育の充実に努める。
4		
5		
6		

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R元年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 認定農業者数	認定農業者の数(経営体)	10	10				
		15	×				
2 認定農業者による農用地利用集積面積	認定農業者による利用権設定農地の面積(ha)	35	49	年間3haの増加を目標としており、達成していると考え			
		50	○				
3							
4							

前年度の評価を踏まえた今年度の課題
新たに農業経営を営もうとする者の確保・育成をするとともに、認定農業者へ誘導するための支援が必要である。

前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針
愛知県尾張農林水産事務所農業改良普及課、愛知北農業協同組合、農業委員会及びその他の農業団体と更なる連携の強化、また、新規就農者の情報収集に努める。また、各農業者が順調に計画を実行できるよう、農業業者に対し遊休農地等の情報発信及び指導徹底を図る。